

平泉寺で動画撮影

■7月11～13日 平泉寺白山神社



勝山市WEB大使であるダンスロイドのメンバーが勝山市を訪れ、平泉寺PR用WEBのダンス動画撮影を行いました。この動画は、8月19日から公開予定です。

国際交流サロン開催

■7月20日 かつやま恐竜の森



勝山市国際交流員や県内の外国人講師と子どもたちが、ハンバーガーを手作りしたり、ゲームをしたりして、国際交流を図りました。

福井県消防操法大会で第4分団優勝!

■7月20日 福井県消防学校



勝山市消防第4分団(平泉寺町管轄)が、第62回福井県消防操法大会ポンプ車操法の部で優勝しました。勝山市では9年ぶり、第4分団としては2回連続の快挙です。

手づくり工芸品がいっぱい

■7月20・21日 ゆめおーれ広場



県内外から手作りの工芸品を集めた「手づくり市」が開催されました。実に様々な作品があり、体験コーナーも賑わっていました。

男女共同参画「夕涼み講座」

■7月23日 すこやか



勝山市男女共同ネットワークが主催した「夕涼み講座」が開催され、三兄妹ソーシャルバンド「一途」が、トークとライブを行いました。

エコミュージアム協議会設立

■7月25日 市民交流センター



この10年間、市主導でまちづくり活動を担ってきた勝山市エコミュージアム協議会を、今後は市民による自律的な任意団体として新たに設立する総会が開かれました。

石探訪 3

故原田仁一郎碑

碑は仁一郎が亡くなった一周年忌に、飛鳥組の手で建てられた。発坂駅に至る道路開鑿にもない移転され、現在は荒土町伊波から北宮地区に至る道路脇南側に建つ。飛鳥組は飛鳥文次郎が創業し、大正5年(1916)にその子文吉が株式会社として発足させた。かつては準大手ゼネコンの規模を持ち、熊谷組や前田建設工業はここから独立した。

仁一郎の生涯について、碑文と飛鳥社史をもとにたどってみる。彼は万延元年(1860)、伊波村の広田五左衛門の二男に生まれ、明治8年(1875)、同村の原田与三兵衛の婿養子となった。幼少より土木工事に関心をもち、生涯をこの事業に捧げた。同じ土木事業に活躍することになる同郷の竹内茂一が世に出るきっかけを与えたのも彼である。

飛鳥父子が飛鳥組を作り上げるまでの苦難の時代、仁一郎は養家や実家の金を持ち出して組を支え、また父子の大野逃亡生活中、茂一とともに庇護を



加えた。文吉の時代に、なり、組は数々の土木工事を手掛け、飛躍的

な発展を遂げる。その間、彼は組の金銭・物品の出納を管理する帳付番頭として手腕を振るい、飛鳥組の基盤作り

に大きく貢献した。飛鳥組が関わった勝山地域の代表的な工事としては、明治41年に完成した京都電灯株式会社(京電)中尾発電所工事(4万8千円)、大正3年(1914)完成の京電の越前電鉄工事(18万5千円)などがある。

株式会社設立に当たり、取締役として飛鳥文吉、竹内茂一などの名前は見られるが、仁一郎の名前がないのは、その頃は病床にあったためである。そして会社がスタートして間もない大正6年6月、死去した。文吉は終生仁一郎の恩義を忘れることなく、事あるごとにその徳を社員に語りその死を悼み、残された家族に対しても援助を惜しまなかった。碑には、発起人として竹内茂一、平井久吉らの名前が、賛同者として飛鳥文次郎、飛鳥文吉、熊谷三太郎など14人の名前が記されている。

市史編集室 山田雄造

※前号の内容に誤りがありましたのでお詫びして訂正いたします
1行目 平泉寺町下荒井→平泉寺町大渡
19行目 下荒井区→大渡区

おすすめ図書



勝山市立図書館 ☎88-6000
ホームページ <http://tosyokan.city.katsuyama.fukui.jp/>

一般図書



「子どもと読みたい科学の本棚」
～童話から新書まで～
藤嶋 昭/共著
東京書籍

著者らの読書体験を踏まえて紹介する、これだけは読んでおきたい科学の本。いろいろなジャンルから、現在できるだけ入手しやすい本を選び、書影や書籍データとともに掲載。実際に本を読んだ様々な世代の人たちの感想も収録。

中高生図書



「国語、数学、理科、誘拐」
青柳 碧人/著
文藝春秋

進学塾に通う小学6年の女子が誘拐された。犯人の要求は、なんと身代金5千円!しかもすべて1円玉で用意せよ、って…。5人の講師は、少女を、塾を、救えるのか!?愛と感動の塾ミステリー。

こども図書



「東京消防庁 芝消防署24時」
岩貞 るみこ/著
講談社

火災、高速道路での玉突き事故、マンション閉じこめ、子どもの事故…。あらゆる事態にすばやく正確に対応する消防署。東京都の芝消防署に7か月間密着取材し、その現場を伝える。

人口の動き

	6月末現在	自然動態			社会動態			7月末現在	月間増減
		出生	死亡	計	転入	転出	計		
男	12,149人	7	-14	-7	15	-17	-2	12,140人	-9人
女	13,313人	7	-18	-11	16	-19	-3	13,299人	-14人
合計	25,462人	14	-32	-18	31	-36	-5	25,439人	-23人
世帯数	8,132世帯							8,129世帯	-3世帯

8月の納税

市・県民税▶第2期
納期限▶9月2日(月) 口座振替▶8月26日(月)

交通事故発生状況

※高齢者=65歳以上

件数内訳	平成25年7月末	前年比
総件数	297件	-2件
人身事故 (うち高齢者)	31件 (8)	-12件 (-8)
死者 (うち高齢者)	1人 (1)	0人 (0)
傷者	32人	-21人
物損事故	266件	+10件